

STAN

Web 認証版

スタートアップガイド

2015 年 09 月 30 日

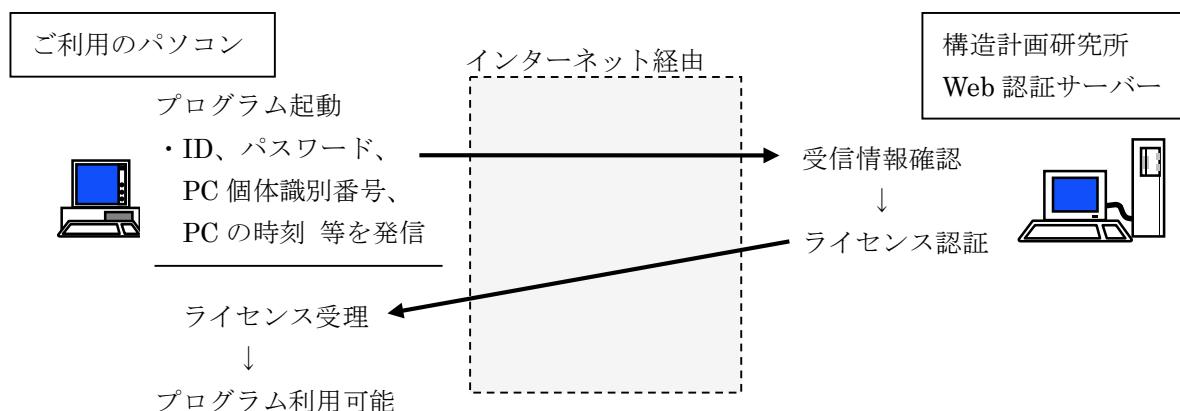


目 次

1. Web 認証版とは.....	2
2. Web 認証版の「使用許諾契約」に関しまして.....	3
3. Web 認証版の納品物.....	4
3.1. 納品時のメールの内容	4
4. まずは Web 認証版を起動してみましょう	5
4.1. 最初の起動手順	5
4.2. ライセンスの解放	7
4.3. 2回目以降の STAN の起動	7
5. Web 認証版のライセンスを管理するサイト	8
5.1. 所有ライセンス	9
5.1.1. この管理サイト内での操作について	11
5.2. 利用者管理	12
5.2.1. 利用者種別について	14
5.2.2. 利用者の追加方法	15
5.3. 使用中ライセンス	17
6. 当日限定ライセンスの利用方法	19
6.1. 当日限定ライセンスの利用方法	20
7. 緊急ライセンスの利用方法	22
7.1. 緊急ライセンスの取得について	23
7.2. 緊急ライセンスの利用方法	24

1. Web 認証版とは

- 弊社 構造計画研究所では、自社開発アプリケーションの一部におきまして、ライセンスの認証方法を、ハードウェア・ロック（USB）方式からWeb認証方式に変えています。
旧方式では、ハードウェア・ロック（USB）の装着されたパソコンが、装着されたUSBからラインセンスを認証されプログラムが起動していましたが、Web認証方式では、インターネットを介し「構造計画研究所 Web 認証サーバー」よりライセンスが認証され、プログラムが起動する仕組みになります。
(今後、バージョンアップを含みます新規リリース分は、Web認証方式に順次 移行していきます。)
- Web認証版のアプリケーションでは、「通信可能なインターネット環境」が必須になります。通信可能なインターネット環境が無いパソコンではご利用になれません。（常時接続が必要になります。）
- Web認証版では、下図のような過程を経てライセンスが認証されプログラムが起動します。
ただし、通常のご利用におきましては、これらの過程は表面には出ませんので、ご利用者はこの間のやり取りを意識することなくアプリケーションを利用できます。



2. Web 認証版の「使用許諾契約」に関して

- ・アプリケーションをインストールされる過程の中で「使用許諾契約」にご同意いただく場面があります。この内容にご同意いただかないとインストールが進まないようになっております。内容をご確認の上、操作を進めていただきたくお願い致します。
※ ご同意いただけない場合、そのアプリケーションはご利用にはなれません。
- ・「使用許諾契約書」の内容に関しては、Web 認証方式を採用したアプリケーションでは、この方式に特有の記載がございます。その部分に関して下記に詳細を説明しております。特にご確認の上、インストールを進めていただきたくお願い致します。

— 重要 —

構造計画研究所製 パッケージソフトウェア_Web 認証版 をご利用の場合、以下に記載の件をご了承いただく必要があります。ご了承いただけない場合、該当ソフトウェアはご利用になられません。

1. プログラムはライセンスを認証する際、利用者のライセンスを識別するために次の情報をインターネット経由で「構造計画研究所 Web 認証サーバー」に送信します。ご利用の際は、以下の情報の送信をご了承いただく必要があります。
 - ① アプリケーション ID（ライセンスコード、利用者コード）と製品構成
 - ② PC の個体識別番号（ハードウェアの個体番号等より自動生成）
 - ③ プログラムを起動＆終了した時間（パソコン内の時計での時刻）と利用オプション情報
2. Web 認証版のユーザ様の情報は、ライセンスを発行する「構造計画研究所 Web 認証サーバー」内で管理されますことをご了承いただく必要があります。
構造計画研究所は「構造計画研究所 Web 認証サーバー」に対し、社会一般に妥当と認められるセキュリティー保護措置を講じるものとしますが、当該措置を破るハッキング行為は、不可抗力と解釈されるものとします。

ご参考：「構造計画研究所 Web 認証サーバー」で保管される個人情報は、会社名・部署名・担当者名・利用者名（複数登録可能）・各人のEメールアドレス・会社郵便番号・会社住所・会社電話番号になります。

ライセンス特有の情報としては、ライセンスコード・利用者コード・ライセンスの利用履歴（ライセンス取得時間、ライセンス解放時間、利用オプション）になります。

万が一のハッキング行為等があった場合でもこれら項目以外の情報流出はありません。

3. Web 認証版の納品物

- ・構造計画研究所製 アプリケーション_Web 認証版をご購入いただきました場合、納品は、認証に必要な各コードのメールでの通知のみとなります。メール通知をもちまして納品にかえさせていただきます。
- ・同 Web 認証版には物品の納品はありません。インストールに関しましては、各アプリケーション_Web サイトからインストール・プログラムをダウンロードして、インストールをお願い致します。

3.1. 納品時のメールの内容

① KKE ライセンス管理サイトのアドレス および ID とパスワード :

⇒ 「構造計画研究所 Web 認証サーバー」には Web 認証をご利用のユーザ様 専用の領域が設けられます。その領域へログインするための ID とパスワードです。このサイトでは Web 認証の登録情報の確認や変更、利用者の追加、現在のライセンスの利用状況が確認できます。ID とパスワードが外部に知れ渡りますと、ご購入のライセンスが勝手に利用されてしまいます。厳重管理をお願い致します。

② ライセンスコード :

⇒ ご購入の製品に付けられるコードになります。このコードにより、該当製品が利用可能になります。当コード内には、ご購入のオプション構成やライセンス数の情報が含まれています。同一製品であれば、複数ライセンスであってもコードは一つになります。
ご利用時の最初のキーになりますので、当コードは外部に知られないよう、管理をお願い致します。

③ 利用者コード :

⇒ 利用者個人に割り当てられるコードです。ライセンスの利用者を特定するためのコードです。利用者コードはユーザ側の操作で、何人でも増やすことができます。納品時には最初の管理者の方のコードが通知されます。関連付けられた②と③のコードにて、アプリケーションが利用可能になります。当コードに関しましても外部に知られないよう、管理をお願い致します。

※ ①の情報で「Web 認証管理サイト」にログインできれば ②と③の情報は入手できますので、①のみのお知らせで問題無いのですが、最初の起動に関しましてはスムーズなご確認をしていただくために、あえて一緒に通知させていただきます。

4. まずは Web 認証版を起動してみましょう

動作の確認は、プログラムをインストールしたパソコンで行ってください。また、パソコンはインターネット環境に常に接続されている必要があります。

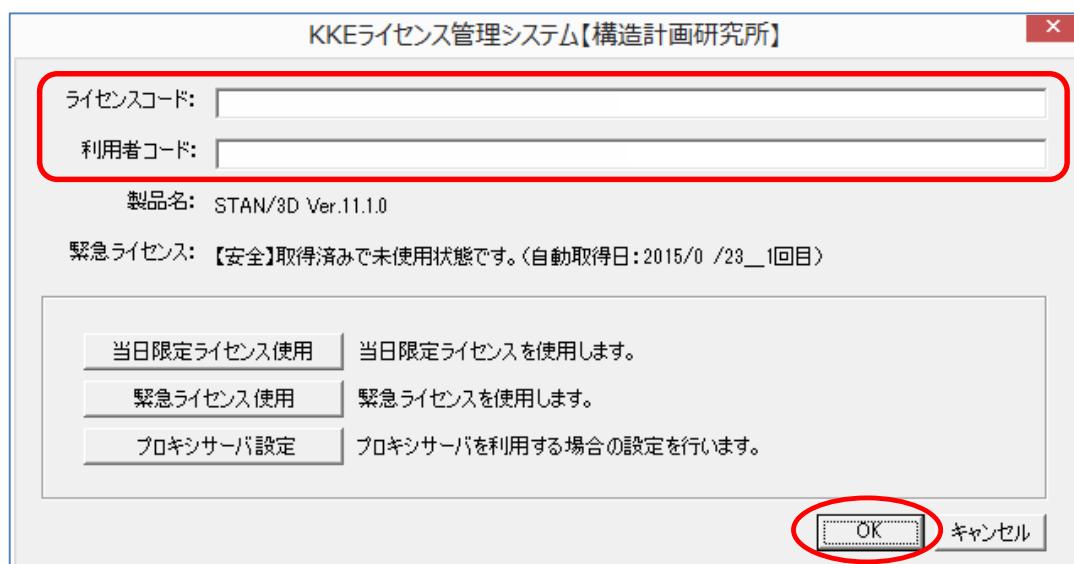
インストールに関しましては、各アプリケーション_Web サイトをご参照ください。インストールCDは存在しません。インストールは同サイトよりダウンロードしたファイルよりインストールを実行してください。

併せて、納品で受領されましたメールを表示しておいてください。以降の操作では、メールに記載されている各コードの コピー&ペースト を行います。

4.1. 最初の起動手順

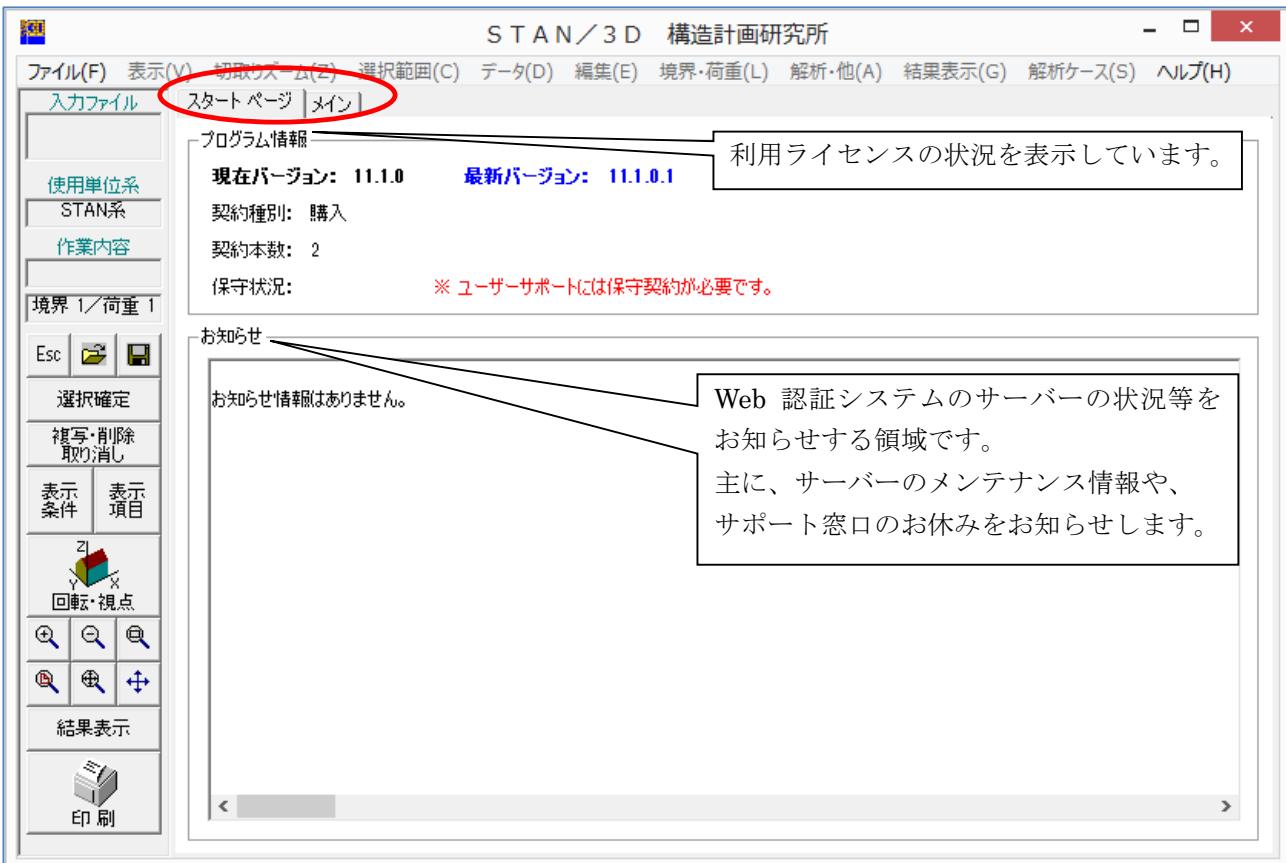
- インストールしたプログラムを立ち上げます。Windows 内のアプリケーション選択画面から、該当アプリケーションのアイコンをクリックします。

最初の起動時、下図のウィンドウが表示されます。(以降は、STAN シリーズ 画面でのご説明となります。)



- ご購入アプリケーションの納品で受領されましたメールに記載されている。「ライセンスコード」 & 「利用者コード」を上記の項目に コピー&ペースト して、[OK] をクリックします。

- 下図の画面が表示されたら 認証成功です。そのままご利用になれます。
起動直後は、利用ライセンスの状況を示す [スタートページ] が表示されます。



- 作業を行う際は、上部タブの [メイン] をクリックして下さい。HELP 等の記載は、[メイン] 画面になっている状況を前提で、各説明がされています。(新規ファイルを作成したり、既存のファイルを立ち上げた場合は、自動的に [メイン] 画面に切り替わります。)



4.2. ライセンスの解放

- ・プログラムを終了すればライセンスは解放されます。(ライセンスは Web 認証サーバーに戻ります。)
プルダウン・メニューより、[ファイル] → [(アプリケーション名) 終了]。
もしくは、画面右上の [×] ボタンをクリック。

4.3. 2回目以降の STAN の起動

- ・最初に入力された「ライセンスコード」&「利用者コード」はプログラム内に保存されます。
2回目以降は自動的に同じコードで認証を行いますので、コードを入力する画面は表示されずに、起動画面が立ち上がります。
立ち上がればライセンスの認証は成功です。(Web 認証サーバーのライセンスは消費されています。)

※ ライセンスが認証されない場合

- ・起動しても何らかの原因でライセンスが取得できない場合、2回目以降の起動であっても以下の画面が表示されます。(既に入力されているコードが表示された状態になります。)

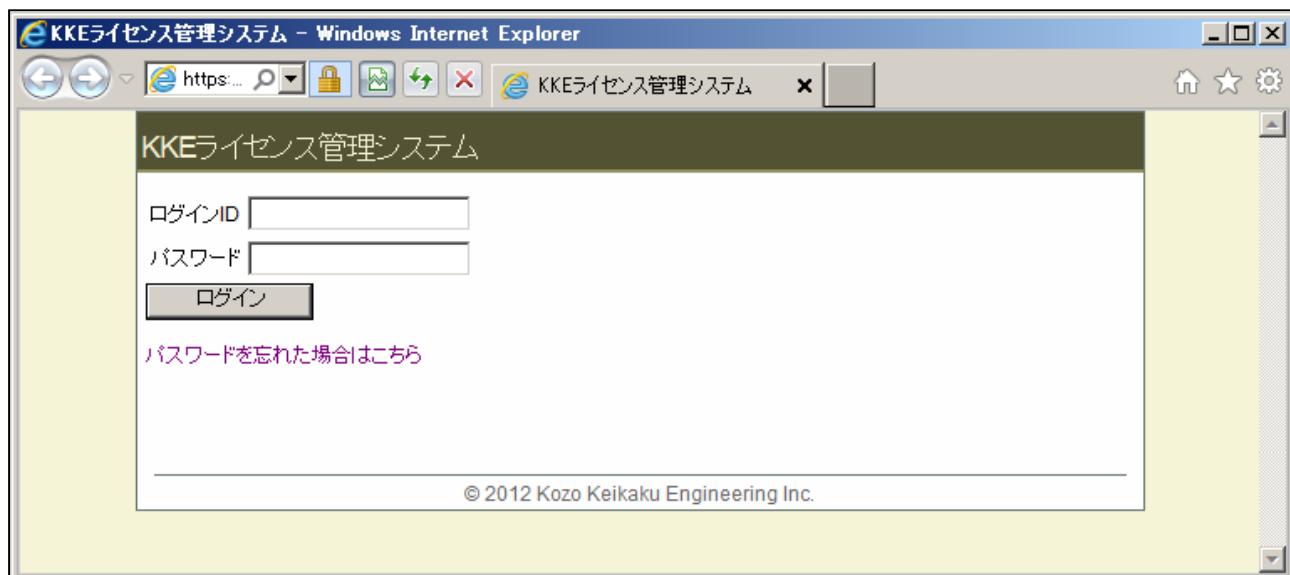


- ・他の利用者がライセンスを別の場所で利用していて、所有ライセンス数を消費しきっていないかの確認をお願いします。また、コードの転記ミスの可能性もあります。コードを再確認していただきまして、コピー&ペーストをお願いします。コードが正しく、原因が特定できない場合、メッセージをお控えいただきまして、構造計画研究所 サポート係りまでお問い合わせください。

5. Web 認証版のライセンスを管理するサイト

次に、Web 認証版のライセンスを管理するサイトに入ってみましょう。このサイトではライセンス自体の情報の表示、利用者の追加、現在の利用状況の確認が行えます。

ご購入アプリケーションの納品で受理されましたメールには、管理サイトのアドレスが記載されています。そのアドレスをクリックして下さい。サイトのログイン画面が、パソコンの標準ブラウザーで表示されます。



納品で受理されましたメールには、同サイトの「ログイン ID」と「パスワード」が記載されています。
この二つをログイン画面に入力して [ログイン] ボタンをクリックしてください。

- ※ 「ログイン ID」と「パスワード」は各ユーザ様 固有の領域にログインするためのものです。2つの情報は外部に知られないように厳重管理をお願いします。
- ※ 納品時に受理されたメールで通知された「ログイン ID」と「パスワード」は納品時に暫定的に決められた値です。ログイン後の画面で変更が可能です。
- ※ 当 管理サイトは、Web 認証版のご利用におきましては頻繁にログインされると思います。「お気に入り」へのご登録をお勧めします。

5.1. 所有ライセンス

- ライセンス・サイトにログインすると、表示される画面は「所有ライセンス」の画面になります。（下図）ここでは、お持ちのライセンスの内容が表示されます。
- ご購入後、最初にログインされましたら、ご購入のライセンス情報をご確認ください。
- ご購入の製品名が表示されていると思います。この行にはオプションの構成や、ライセンス数も記載されています。
- 通常は同じ製品名であれば、何ライセンスお持ちでも一つの行に集約されます。何らかの理由により2つの製品に分けた場合、2行に分けて表示されます。
- 構造計画研究所製のアプリケーション（Web認証版）は全てここに表示されます。

- 「所有ライセンス」では以下の情報がご確認いただけます。なお、ライセンス情報はユーザ側では編集できません。変更が必要な場合、構造計画研究所までお知らせください。

項目	内容
編集（ボタン）	・ユーザ側での操作はできません。
会社名	・ご購入時の情報より設定されます。
部署名	・ご購入時の情報より設定されます。 (同じ会社でも部署単位で別登録が可能です。)
製品名	・ご購入の製品名になります。
ライセンスコード	・お持ちの製品の固有のコードです。ライセンス管理サーバーにて自動的に割り当てられます。プログラム起動時に必要になります。
アイテム	・オプション構成です。利用可能なオプションが表示されます。
種別	・購入・レンタル・お試し版 のいずれかが表示されます。
数量	・ご利用可能なライセンス数です。

項目	内容
有効期間（開始日）	・ライセンスの有効期間になります。期間外のライセンスはご利用になれません。
有効期間（終了日）	
保守状態	・有償契約中・無償契約中・未契約 のいずれかが表示されます。
保守（開始日）	・技術サービス（保守）の期間になります。ライセンスの有効期間ではありません。
保守（終了日）	
製品担当者	・この製品に関する御社でのご担当者になります。 ご購入時の情報より設定されます。
メールアドレス	・上記のご担当者のメールアドレスです。ご購入時の情報より設定されます。
製品担当者情報発信	・上記のご担当者への情報発信の有無になります。ご購入時の確認情報により設定されます。

5.1.1. この管理サイト内の操作について

- 当管理サイトの操作において、少々特殊な手順があります。
ライセンスコードや利用者コードを他の利用者に通知する場合等、表示しているテキスト情報の一部分を、
コピー&ペーストされる場面があるかと思います。コピーの手順は以下になります。

コピーしたい文字列をクリックすると、その全文字がクリーム色の四角枠内に表示されます。このエリアは、範囲選択が可能になりますので、後は通常の コピー&ペースト 操作になります。

ログアウトの際は
ここをクリックします。

ログアウト

取り込みたい文字列をクリックすると、
別窓で表示されますので、そのエリアを
範囲選択して、コピーしてください。

編集	会社名	部署名	製品名	ライセンスコード	アイテム	種別	数量	有効期限
編集	株式会社 構造計画研究所	エンジニアリング営業部	STAN/3D-V10.5	STAN/3D- -DD	STAN/3D-Light	購入	2	2015/12/31
編集	株式会社 構造計画研究所	エンジニアリング営業部	STAN/3D-V10.5	STAN/3D-E	STAN/3D	購入	1	2015/12/31
編集	株式会社 構造計画研究所	エンジニアリング営業部	STAN/3D-V11	STAN/3D-M	STAN/3D	購入	2	2016/12/31
編集	株式会社 構造計画研究所	エンジニアリング営業部	Quick3D	-FF ...	CD	購入	1	2016/12/31

※ この特殊操作は上記の表部分に限ります。文字入力が可能な個所は通常の選択方法で操作可能です。

5.1.2. この管理サイトからのログアウトについて

- 当管理サイトから抜け出すには、表示画面右上の「ログアウト」をクリックしてください。
- ログアウトして、最初の「ログイン画面」が表示されます。

5.2. 利用者管理

- ・画面の左側のメニューから、「利用者管理」をクリックすると表示されます。
御社のライセンスをご利用になる方を全員、ここに登録してください。（登録方法は 5.2.2 利用者の追加方法を参照ください）
- ・ご注文書の情報により、製品の管理者になる方の 1 名様が、納品時に既に登録されています。
以降、ご利用者の追加登録はユーザ側にて行っていただきます。
- ・各製品で固有のライセンスコード（ライセンス管理の項目に記載があります）と、この利用者コードの二つが揃うことで、その製品をその方がご利用可能になります。

- ・「利用者管理」では以下の情報がご確認いただけます。なお、各情報はこの画面で編集が可能です。
ご登録情報が変更になりましたら、この画面から御社での変更をお願い致します。

項目	内容
編集 (ボタン)	<ul style="list-style-type: none">このボタンで登録情報を修正できます。
削除 (ボタン)	<ul style="list-style-type: none">ご登録のユーザを削除できます。 製品担当者に設定されている場合、唯一の管理者の場合は、削除ボタンが選択不可になります。
利用者コード	<ul style="list-style-type: none">ご登録の個人に自動的に割り当てるコードです。ご利用者を特定するコードです。当コードが無いとプログラムはご利用にはなれません。
利用者種別	<ul style="list-style-type: none">管理者、一般ユーザ のどちらかを登録時に設定します。（変更可） 「管理者」は製品の利用の他、このサイトへのログインが可能な利用者になります。（ID が付与されます） 「一般ユーザ」は製品の利用は可能ですが、この管理サイトへはログインできません。
氏名（漢字）	—
氏名（カナ）	—

項目	内容
メールアドレス	・情報発信を許可された場合、ここに記載されたアドレスに送信されます。
郵便番号	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。 ご利用者を追加された場合、この項目は省略可能です。
住所	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。 ご利用者を追加された場合、この項目は省略可能ですが、製品管理者に設定される方はこの項目の入力が必要です。
ビル名等	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。 ご利用者を追加された場合、この項目は省略可能です。
電話番号	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。 ご利用者を追加された場合、この項目は省略可能ですが、製品管理者に設定される方はこの項目の入力が必要です。
情報発信	・構造計画研究所からの、製品に関する情報発信の許可の有無をご登録ください。
製品名	・利用可能な製品が表示されます。製品単位での制御はできません。
作成日時	・この利用者を登録した日時です。ご登録時、自動的に設定されます。 最初のご登録者は、構造計画研究所のサポート係りによる登録となります。
作成者	・この利用者を登録した人です。ご登録時、自動的に設定されます。 最初のご登録者は、構造計画研究所のサポート係りによる登録となります。
更新日時	・この利用者を最後に修正した時間です。修正時に自動的に設定されます。 修正の度にここに記載も入れ替わります。
更新者	・この利用者を最後に修正した人です。修正時に自動的に設定されます。 修正の度にここに記載も入れ替わります。
緊急解除コード発行数	・利用者がライセンスを取得時に使用していたパソコン毎に緊急解除コードが発行された回数が表示されます。同一の利用者コードにて複数のパソコンでご利用の場合、パソコンの数だけ登録されます。(パソコン数だけ行が増えます。) ・緊急解除コードに関しては後に記載があります。
最終発行緊急コード	・最後に発行した緊急解除コードがここに記載されます。 緊急解除コードに関しては後に記載があります。

5.2.1. 利用者種別について

管理者 : 製品の利用の他、管理サイトへのログインが可能になります。(ログイン ID が付与されます)
管理者として設定された利用者は、管理サイトにログインできますので 他の利用者の追加や削除、現在誰が利用しているかを確認できます。
納品時に既に登録されている 1 名様は、最初から「管理者」に設定されています。
管理者は何名でも設定できます。(ID とパスワードは各人で異なる必要があります。)

一般ユーザ : 製品の利用は可能ですが、この管理サイトにはログインできません。誰が利用しているのかの確認や、ライセンスコードや利用者コードを忘れた時の確認も「管理者」に依頼する必要があります。

※ 顔を見渡せる数人のチームでライセンスを共有される場合、全員を管理者にするのも良いかと思います。
※ 現場での利用等、特定の利用者に管理権限を与えたくない場合、一般ユーザの設定をご利用ください。

※ 個人名、メールアドレス、構造計画研究所からの情報発信への許可の有無、はこのサイト内で扱われる個人情報になります。

「最初の入力を個人で行うか、管理者の方が一括で行うか」または、「登録情報の改変は利用者自身以外で行うことを許容するか」等、個人情報の取り扱いに関しては、御社内での情報扱いルールに則して行ってください。

5.2.3. 利用者の追加方法

- ・製品の管理者になる方の1名様が、納品時に既に登録されています。2名様以降は、以下の方法にて利用者の追加を行ってください。

The screenshot shows the KKE License Management System interface. On the left, there's a sidebar with '所有ライセンス' and '利用者管理' (which is circled in red). The main area shows a list of users with columns for '編集' (Edit) and '削除' (Delete). A large callout box points to the '新規追加' (New Addition) button at the top right of the main window. On the right, a detailed 'User Management Edit' dialog box is open, also with its '新規追加' button circled in red. Another callout box points to the '確認' (Confirm) button at the bottom of the dialog.

新規追加をクリック

新規追加

各項目に入力後、[確定]をクリック。

項目	内容
会社／部署名	・固定情報です。編集は不可です。
利用者種別	・管理者、一般ユーザ のどちらかを選択してください。
氏名（漢字）	・利用者の氏名（漢字）を入力します。
氏名（カナ）	・利用者の氏名（カナ）を入力します。
メールアドレス	・利用者単位で異なるアドレスでなくてはなりません。 ・同じメールアドレスを共有して複数の利用者を登録することはできません。 ・情報発信を許可されると、このメールアドレスに送付されます。
ログイン ID	・このサイトにログインするための情報です。利用者種別が「一般ユーザ」の場合は設定できません。
パスワード	・半角英数字、8文字以上で設定してください。 ・自動的にログインID、パスワードの重複チェックが行われ、重複している場合にはメッセージが表示されます。
郵便番号	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。利用者を追加される場合、この項目は省略可能です。

項目	内容
住所	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。利用者を追加される場合、この項目は省略可能ですが、製品管理者に設定される方はこの項目の入力が必要です。
ビル名等	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。利用者を追加される場合、この項目は省略可能です。
電話番号	・最初の管理者の方は、ご購入時の情報より設定されます。利用者を追加される場合、この項目は省略可能ですが、製品管理者に設定される方はこの項目の入力が必要です。
情報発信	・構造計画研究所からの、製品に関する情報発信の許可の有無をご登録ください。

・表示された追加用の画面に必要な情報を入力の上、[確定] をクリックすれば、利用者が追加されます。

－ 利用者を追加したら －

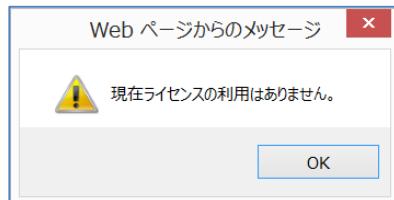
- ・管理者の方が利用者を追加されましたら、「ライセンスコード」と共に追加した「利用者コード」を該当の方に通知してください。その方が両方のコード入手することにより、プログラムの利用が可能になります。

5.3. 使用中ライセンス

- 画面の左側のメニューから、「使用中ライセンス」をクリックすると表示されます。

現在利用中のライセンスが表示されています。この画面での操作はありません。情報の確認のみになります。

- 管理サイト内におきまして「使用中ライセンス」に移った時点で、ライセンスが一つも利用されていない場合。右のメッセージが表示されます。確認だけですので、[OK] をクリックしてください。



- 「使用中ライセンス」では以下の情報がご確認いただけます。なお、ライセンスの強制解放 の操作はユーザ側ではできません。必要な状況になりましたら、構造計画研究所までお知らせください。

項目	内容
返却 (ボタン)	・ユーザ側での操作はできません。
ライセンスコード	・ご利用中のライセンスコードです。
製品名	・ご利用中の製品名です。
アイテム	・オプション構成です。ご利用中のオプションが表示されます。
種別	・購入・レンタル・お試し版 のいずれかが表示されます。
取得種別	・通常のライセンス取得の場合、「ネットワーク」と表示されます。 当日限定ライセンス（ライセンスの持ち出し）にて取得された場合、「解除コード（当日限定）」と表示されます。 (当日限定解除コードに関しては後に記載があります。)
利用者コード	・現在 このライセンスを利用されている利用者の利用者コードです。
利用者氏名	・現在 このライセンスを利用されている利用者のお名前です。
ライセンス取得日時	・現在 利用されているライセンスが取得された日時です。
固有コード	・現在 このライセンスを利用している利用者のパソコン固有のコードです。同じ利用者でも、利用中のパソコンが異なるとコードも異なります。

項 目	内 容
全数	・この製品に関する、御社でご利用可能なライセンス数です。
残数	・この製品に関する、現在 利用可能なライセンス数です。 同時の利用者が増える度に、残ライセンス数は更新されます。

※ライセンスの利用者が居ないので、「利用中ライセンス」に履歴が残っているという状況は、何らかの原因（OS やパソコンの不意なシャットダウン等）により取得ライセンスが正常に解放されなかった場合と考えられます。ユーザ側ではライセンスの強制解放は行えません。
この場合、構造計画研究所のサポート窓口にご連絡ください。

6. 当日限定ライセンスの利用方法

Web 認証版の通常の利用方法におきましては、ネットワーク環境への常時接続が必要です。実行するプログラムは、ライセンスの取得時と返却時、そして稼働中もあるタイミングで「構造計画研究所 Web 認証サーバー」と通信を行っています。しかし、現場にてノートパソコン等で作業を行う場合 等、ネットワーク環境に接続できない環境での利用の場面もあるかと思います。この時にご利用いただくのが「当日限定ライセンス」になります。

「当日限定ライセンス」の使用により、そのパソコンでは、その日一日（その日の 24 時迄）、ネットワーク環境の接続がなくても、プログラムを利用することが可能になります。ただ、「当日限定ライセンス」のご利用は、通常のライセンス取得と同等ですので「構造計画研究所 Web 認証サーバー」側ではライセンスは消費された状態になります。その日一日、ライセンスを持ち出すといったイメージです。よって持ち出されたライセンス分は、その日一日は他の方がご利用になれません。他の方のご利用状況をご確認の上、ライセンスを持ち出してください。

「当日限定ライセンス」のご利用におきましては、ライセンスの返却の必要はありません。ライセンスを取得されたパソコン側では、その日の 24 時で ライセンスは自動的に無効になります。また、「構造計画研究所 Web 認証サーバー」側では、その日の 24 時で 取得された分のライセンスは自動的に返却状態に戻ります。

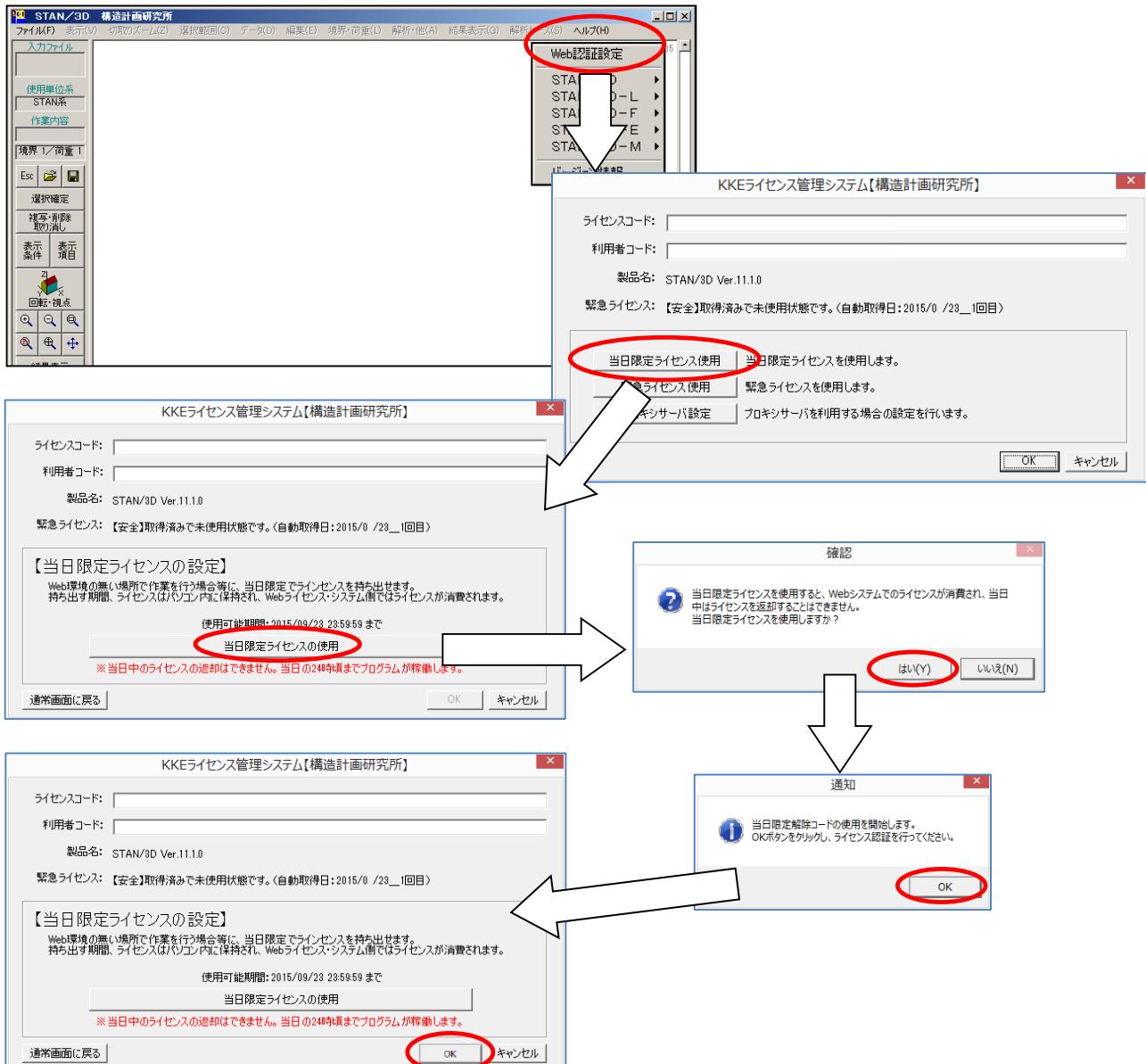
このライセンスが取得される際に、当プログラムは ユーザがご利用のパソコン内の時計と、「構造計画研究所 Web 認証サーバー」内の時計の照合を行います。時間差が大きい場合、ライセンスは発行されません。また、同ライセンスの取得後もパソコン内の時計の時間が大きく変更されると、ライセンスは無効になります。

ただ、通常の操作ではパソコン内の時計の時間が大きく変わることはありませんので、ご安心ください。

- ・持ち出せるライセンスは「当日限定ライセンス」しかありません。日数を指定した持ち出しはできません。よって数日に渡り持ち出したい場合でも、日が変わる度に ネットワーク環境に接続して持ち出しの操作を行う必要があります。
- ・ライセンスの取得した日の 24 時で、持ち出したライセンスは自動的に無効になります。よって、持ち出した時間が遅いと、短時間しか有効でないライセンスになります。ご注意ください。
- ・「当日限定ライセンス」で持ち出されたライセンスを、そのライセンスが有効な時間内に 認証サーバー側に戻すことはできません。これは、構造計画研究所 サポート係りにお問合せいただきましても、弊社にて操作することは出来ません。予めご了承ください。

6.1. 当日限定ライセンスの利用方法

- ・アプリケーションを起動してください。(通常の Web ライセンスを取得します。)
プルダウン・メニューより、[ヘルプ] → [Web 認証設定] を選択します。
「KKE ライセンス管理システム【構造計画研究所】」画面が表示されます。
表示された画面の下側に [当日限定ライセンス使用] というボタンがありますので、それをクリックします。
拡張画面に切り替わります。その画面内の [当日限定ライセンス使用] のボタンをクリックした後、
2つの確認および通知画面が出ますので、それぞれ、[はい] ⇒ [OK] をクリックします。



上図の「KKE ライセンス管理システム【構造計画研究所】」画面に戻ってきますので、ここで [OK] をクリックすれば完了です。

アプリケーションの画面に戻ります。その時のライセンスは すでに通常ライセンスから当日限定ライセンスに切り替わっています。 次にアプリケーションを立ち上げるときは、ネットワーク環境は不要です。 同日の 24 時迄は、ネットワーク環境に接続していなくても、そのパソコンにて何度でも起動可能です。

- ・当日限定ライセンスを利用中で、ネットワークが接続されていない時、アプリケーションを起動して表示される「スタートページ」には、ライセンス情報やお知らせは表示されません。(下図)



通常作業には支障はありませんので、画面上部の「メイン」タブをクリックして操作を続行してください。

※当日限定ライセンスの取得中、ライセンスを管理するサイトにて利用中のライセンスを確認すると、

取得種別 の項目は「解除コード (当日限定)」と表示されています。

この記載は、同日の 24 時に無くなり、ライセンスは解放されます。

逆に、同日の 24 時までは、当日限定ライセンスの強制解放は出来ませんので、予めご了承ください。

※当日限定ライセンスの取得は、利用可能なライセンス残数が有る場合のみ利用可能です。

ライセンスを他の利用者が取得されていて、利用可能なライセンスが残っていない場合は取得できません。

7. 緊急ライセンスの利用方法

Web 認証版の通常の利用方法におきましては、ネットワーク環境への常時接続が必要です。しかしながらインターネット環境は完全に保証されたインフラではありません。何らかの原因でインターネット環境が寸断された場合、または ハード的な要因でインターネット環境が利用不可になった場合等、Web 認証を行うことはできません。このような時にご利用いただくのが「緊急ライセンス」です。

緊急ライセンスの利用には、あらかじめ「緊急解除コード」の入手が必要です。このコードは、一番最初に Web 認証の通信を行った時点で自動的に取得されますので、ご利用者が意識する場面はありません。取得したコードはパソコン内に保管され、緊急時に利用します。利用後、同コードは消費され無くなります。消費後は、次に Web 認証の通信を行った時に再度、プログラムが自動的にコードを取得します。取得に関する操作は一切ありませんが、取得回数等の履歴は「構造計画研究所 Web 認証サーバー」に記録されます。

ネットワーク環境を介さないで、Web 認証版を利用するという点では、「当日限定ライセンス」と仕組みは同じなのですが、両者には大きな違いがあります。

まず、「当日限定ライセンス」は取得した日しか有効ではありませんが、「緊急ライセンス」は取得後、保管されます。保管中は有効なライセンスとはなりません。緊急時の操作（次ページ以降に記載があります。）を行った時に初めて有効になり、その操作を行った日から3日間有効になります。つまり その操作を行わない限り有効にはなりませんので、緊急時の保険として常時 保管しておけるライセンスとなります。

もう一つの違いは、「当日限定解除ライセンス」は取得時にお持ちのライセンスが消費されますが、「緊急ライセンス」は保管用として取得する性格上、取得されてもライセンスは消費されません。

前述の Web 認証版用のサイト に、「利用者管理」のページがあります。（5.2. 利用者管理 参照）

ここには「緊急解除コード発行数」という項目があり、緊急解除コードの発行回数の履歴が残る仕組みになっています。

緊急時が発生し、その緊急解除コードを 2 回利用した場合、3 回目の発行は出来なくなります。3 回目の発行は構造計画研究所 サポート係りにご連絡いただければ可能になります。ご連絡いただきましたタイミングで、緊急時の状況をサポート係りにて確認させていただきます。

緊急ライセンスはあくまでも緊急用のものになります。このライセンスのご利用が頻繁な場合、弊社 営業よりご連絡をさせていただく場合があります。その際はご了承ください。

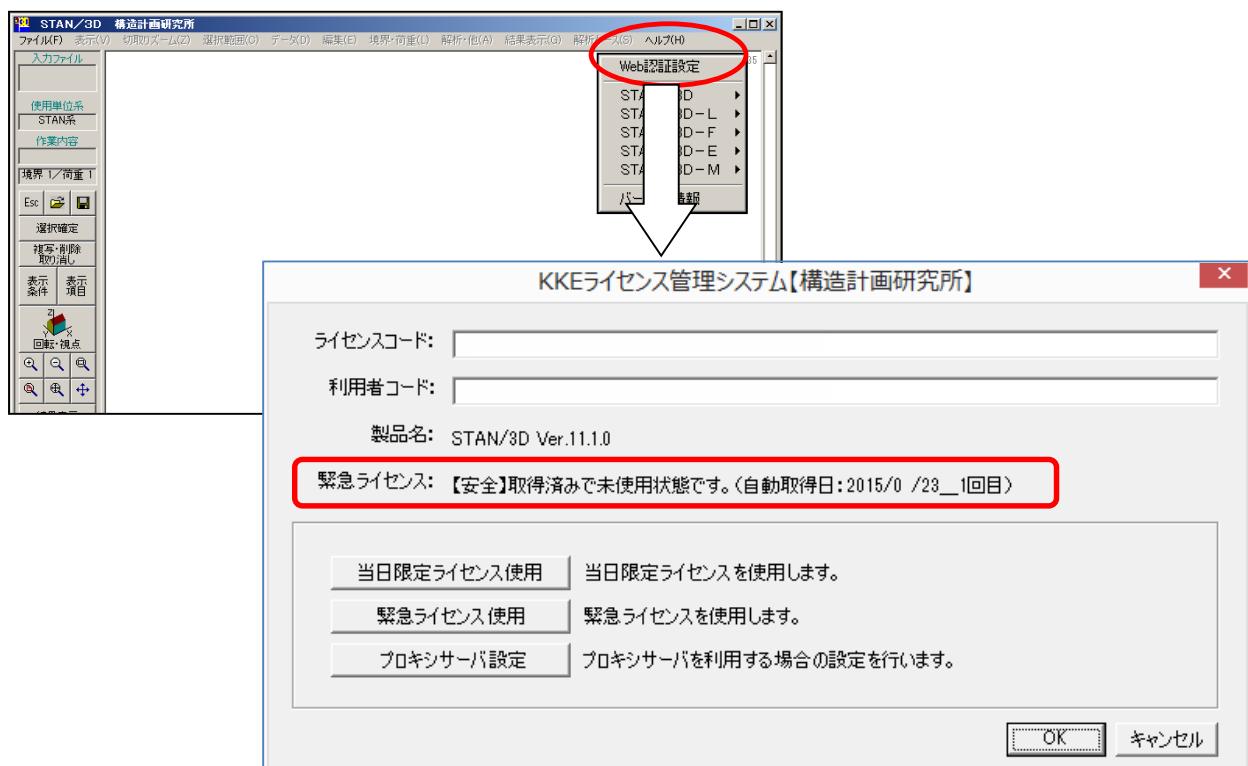
同じ利用者（利用者コード）におきましても、ご利用のパソコンにより「緊急解除コード」は異なります。異なるパソコンでのそれぞれの初回取得では、2 回のカウントにはなりません。前述の発行制限は、同一パソコンでの制限となります。

7.1. 緊急ライセンスの取得について

- ・アプリケーションがインストールされ、最初の起動時、最初のWeb認証の通信がされた時点で、緊急ライセンスは自動的に取得されます。同じように、緊急ライセンスを消費した後の最初の起動時にも自動的に取得されます。
- ・ライセンスの取得状況は次の方法で確認します。
アプリケーションを起動してください。(通常のWebライセンスを取得します。)
プルダウン・メニューより、[ヘルプ] → [Web認証設定] を選択します。
「KKEライセンス管理システム【構造計画研究所】」画面が表示されます。
表示された画面中段に、緊急ライセンスについての記述があります。

「【安全】取得済みで未使用状態です。～」

と表示されていれば取得されています。ここには取得日と、その取得が何回目の取得であるかの情報も表示されます。

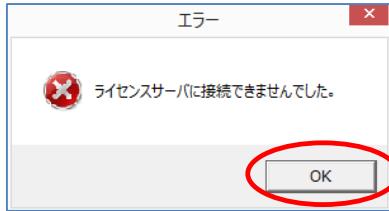


- ・確認ができましたら、[キャンセル] ボタンをクリックして、アプリケーションの画面に戻ってください。

7.2. 緊急ライセンスの利用方法

ここでの操作は、インターネット環境の寸断等で、Web認証ができなくなった場合の緊急時に起動するための手順です。緊急ライセンスの利用回数には制限があります。ご注意ください。

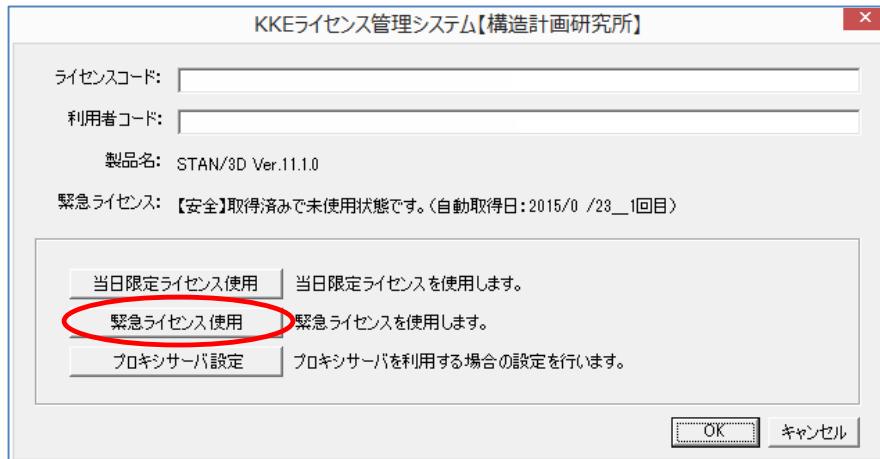
- ・アプリケーションを起動してください。とは言っても Web 環境が利用できない緊急時に、プログラムは起動しません。プログラムを起動しても Web 環境に接続できない場合、自動的に下図の画面が立ち上がります。



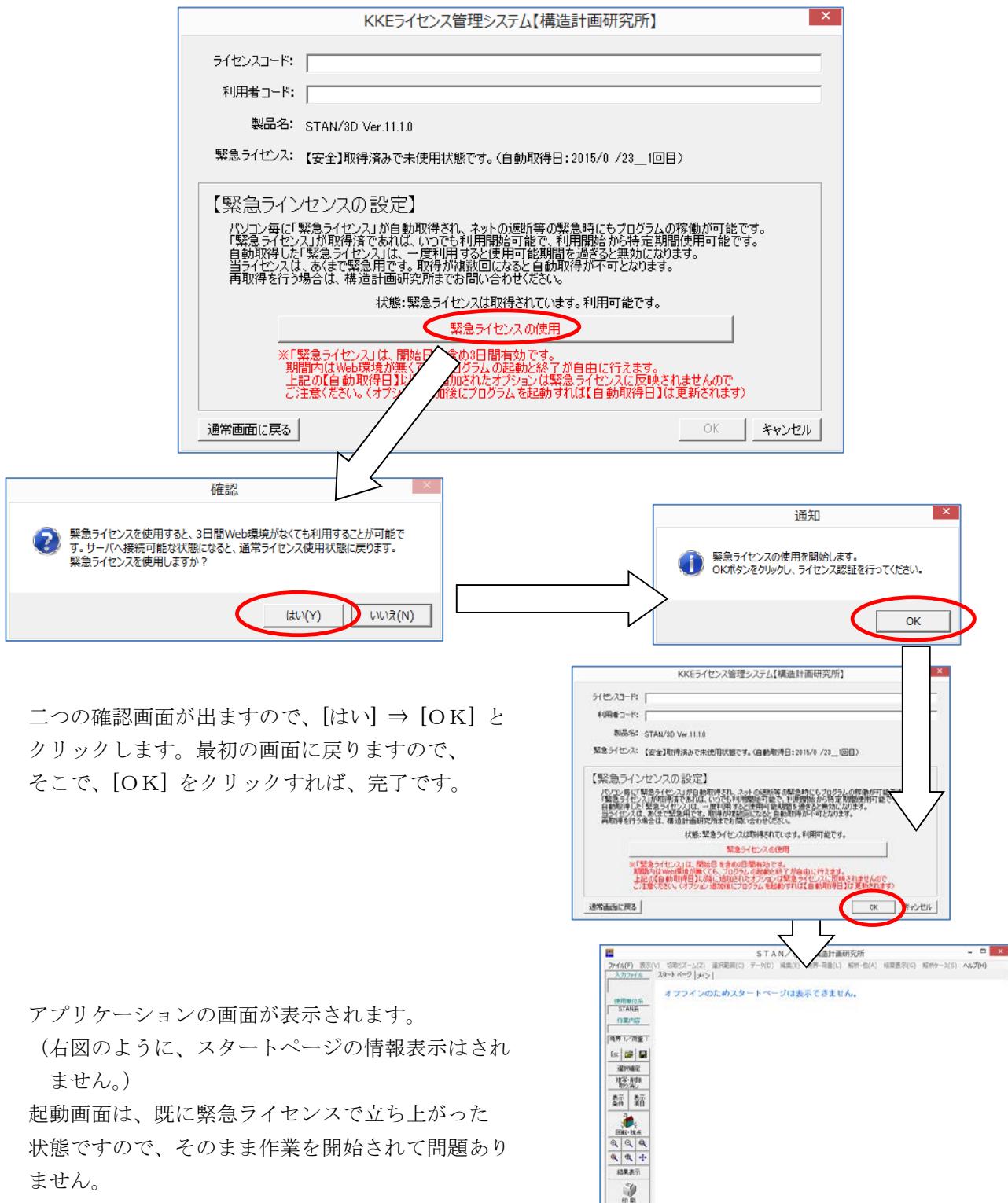
[OK] をクリックして、下図の画面が立ち上りましたら、ネットワークケーブルは接続されているか、もしくは他のメッセージが出ていないかの確認を行ってください。構造計画研究所 サポート係りの運営時間内でしたら、お問い合わせいただきまして、ご確認いただく手段もございます。

確認後、緊急ライセンスをご利用になる場合、以下の手順を行ってください。

表示された画面（下図）の下側に「緊急ライセンス使用」というボタンがありますので、それをクリックします。拡張画面に切り替わります。



- 下図の画面 下段の【緊急ライセンスの使用】をクリックします。



二つの確認画面が出ますので、[はい] ⇒ [OK] とクリックします。最初の画面に戻りますので、そこで、[OK] をクリックすれば、完了です。

アプリケーションの画面が表示されます。

(右図のように、スタートページの情報表示はされません。)

起動画面は、既に緊急ライセンスで立ち上がった状態ですので、そのまま作業を開始されて問題ありません。

緊急ライセンスの利用開始日を含めて3日間、全く外部に通信することなくアプリケーションは起動し続けます。この3日間でWeb環境が正常に戻りましたら、再び通常のWeb認証版としてご利用ください。